

HIGASHI COMPASS

- 入学おめでとう！
- 部活動試合結果
- 創立を学ぶ会

新年度を迎えて

校長 菊地 知恵子

○ 40周年の中学校

今年度学園は創立59周年、中学校は開校40周年を迎えます。先週の保護者会と今週の「創立を学ぶ会」では、創立者北原キヨ先生・北原勝平先生のことや中学校の変遷について、中学校の40年間を知る先生から話をいたしました。東学園には、互いに学び合って伸びていく場があります。生徒にとって自分が受けた教育の成果や意義を実感できるのは、もしかしたらずっと先のこともかもしれませんが、40年を経ても変わらないものを大切にしながら、今年も実りを求めて共に一年間の教育を進めていきましょう。

○ 中学校からの分岐点

中学生からは自主性を身に着ける、といっても、そう簡単にはいきません。たとえば、家で勉強しなきゃと思いつつも、なんとなく自分のやりたいことで時間を使い、「この勉強は、きっと将来使わないと思う。テストの前だけやればいいや。」などとなっているかもしれません。やるべきことはわかっているものの、言い訳ともつかぬこと、「意味」がないと納得しないのだ、ということがあります。

生徒に、勉強を食事にたとえて話したことがあります。「いままでに何を食べたかを覚えていない、しかしそれは確かに自分の身になっている」。これは「勉強している時には何の役にたつかわからない」ということです。すぐに何かの役に立つための勉強もあるでしょうが、それは目的を果たせばおしまいになります。更に言っておきたいことは、「勉強には終わりがない、一生続く。」ということ。このことは、今すぐにはわからないでしょう。

「教養」という言葉は、今はあまり頻繁に使うことはありませんが、きちんと生きていくた

めに備えていなければならないものであることに異論はないでしょう。「知識」だけを指すのではなく、いつ役に立つかわからないが、もし窮地に陥った時に（個人のみならず、或る時には社会が、あるいは人類が）、どう生きていくか力を出すものであったり、何かに対峙して関係性を作り上げられるもの、そんな底知れぬ力を出すみなものように思えます。

テストがあるから勉強する、中学生はそこから脱却する分岐点です。自分が学ぶ意味の質的転換点です。

受験生である3年生が、秋から冬に入る頃、「勉強が楽しくなってきた」と言うのを度々聞いてきました。自分でわかると楽しくなり、もっと先までやってみたい、完全に自分のものにしたいという気持ちになるのです。テストがあるから勉強するが、テストのためだけに勉強するのではない。自分のためにする。それは、突き詰めてやった後に見えてくるものです。大人も同じで、学ぼうとするほど自分が知らないということがわかり、謙虚に、優しく、賢明にならなければならない、それがわかるのでは。

○ 「対話」に向けて

緊張の4月を経た5月は、学校生活も本格化し、もしかしたら楽しいばかりではないかもしれません。人間関係も深まっていきます。先生方も、生徒を認めながら少しずつ鍛えていきます。コロナ禍の3年間、世の中は心身ともに「守り」の姿勢に入っていました。心配でとげとげしくなりがちだったかもしれません。これからは、やってみてダメならやり直せばいいですし、話してみれば納得できることがあるかもしれません。「対話」をして、心の距離を近づけてはどうでしょう。

毎日、小さな新しい出来事が少しずつ進みます。混合教育の場面からも、たくさんのことを学ぶでしょう。5月からの、生徒たちの新しいことへの挑戦を楽しみにしています。



入学おめでとう!



心待ちにしていた中学校生活がスタートして約1か月。小学生から中学生へと、大きな変化でしたが、この4月で新しい生活に慣れて活動の場も広がりました。以下に新入生の感想を、いくつか紹介します。

<ABクラス プランノートのコメントから>

●中学校生活2日目で友達もたくさんでき、楽しい1年間を過ごせそう。●清掃があり、初めてCDE組の友だちと話すことができた。積極的に話してくれたので、とても楽しかった。●部活紹介では先輩たちが私たち1年生を楽しませようと工夫してくれました。自分もそのような先輩になりたいと思いました。●仮入部では先輩方が優しく丁寧に教えてくれて楽しく活動できました。●たくさんの新しいことが始まり、中学校生活でプランノートを使用していくことの大切さを感じました。●部活動が本格的に始めると、自宅にいる時間も減るので、効率のよい自主学习を心がけたい。

<入学式の様子>



やや緊張した面持ちでしたが、皆、堂々とした姿勢で入場しました。

<CDEクラス 教室から>

●友達がたくさんでき、昼休みは一緒にサッカーをするのが楽しいです。●技能の時間では先輩たちがいろいろと優しく教えてくれて楽しかったです。●給食はカレーやハンバーグ、唐揚げ等、メニューもいろいろあっておいしいです。●中学生になってから、翌日の授業の準備や確認を自分でするようになりました。●電車での通学はたいへんですが、少し大人になったような気がします。●自分から積極的に先生やクラスメートに挨拶をしたところ、友達がたくさんできました。



担任の先生から、一人ひとり名前を呼ばれ、元気に返事をします。

新入生顔合わせの会

入学式後の1年生の登校初日に友愛会主催の「新入生顔合わせの会」が行われ、新入生と2・3年生が初めて全員で対面しました。新入生が曲に合わせて入場すると、先輩たちは手拍子をしながら笑顔で迎え、新入生もつられるようにして自然と笑顔になり、先輩たちの歓迎ムードに添っていました。

友愛会会長より1年生に祝福の言葉が伝えられたあと、手作りの「新入生ガイダンスブック」が配られました。その後、上級生たちが一日の流れや行事について、寸劇やクイズを通してユーモアを込めてわかりやすく説明し、新入生はこれから始まる中学校での生活をイメージしながら、楽しそうに話を聞いていました。





創立を学ぶ会

毎年4月に、生徒たちが創立者や学園・学校の歴史を学ぶ機会がもてるように、「創立を学ぶ会」を行っています。今年度は、中学校開校以前より東学園に在職している先生から、創立者のことや開校40周年を迎える武蔵野東中学校のこれまでの変遷について、画像を交えて話をしました。生徒たちは、創立者北原勝平先生、キヨ先生が求められていた理想の教育や望む生徒像などに触れることで、自分自身がどうあるべきか、自己を振り返りつつ、創立者が情熱をもって起ち上げてきた学園・学校で学ぶことの意義について考える機会となりました。



4月の部活動試合結果と5月の大会予定

陸上競技部

●第73回千代田区陸上競技選手権大会兼都大会突破認定大会
 (入賞者) (4/9 江戸川陸上競技場)

3年 三浦くん	走幅跳	5m81	2位
3年 大久保さん	走幅跳	4m72	2位
2年 平井さん	100m	13"34	3位
2年 渋谷さん	走幅跳	4m38	6位
2年 藤村くん	走幅跳	5m25	6位
女子4×100mR			
(伊藤さん、平井さん、伊藤巴さん、大久保さん)			
		54"43	2位

●第86回東京陸上競技選手権大会ライジングスター大会
 (入賞者) (4/22 新国立競技場)

2年 平井さん	100m	13"10	7位
---------	------	-------	----

